



北経連トピックス

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2021年12月16日(木) No292

発行：北陸経済連 合会
編集：日野恵美・越野理恵
Tel:076-232-0472 Fax:076-262-8127

12月1日～15日の活動報告

●第8回 関西・北陸交流会

日時：12月1日(水) 15:00-16:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

JR西日本主催、第8回関西・北陸交流会がホテルグランヴィア大阪にて開催された。当日行われた座談会には、関西大学の宇都宮教授、関西経済連合会の松本会長、大阪商工会議所の尾崎会頭、関西経済同友会の古市代表幹事、近畿運輸局の金井局長、JR西日本の長谷川社長、当会からは金井会長が出席した。

座談会では3つのテーマについて意見が行われ、1つ目のテーマである「コロナ禍を契機とした急速な社会の変化について」において金井会長は、北陸経済の現状や、コロナ禍においてテレワークへの取り組みが増え、兼業や副業に対する意識も高まっていることについて言及。また、北陸新幹線の全線開通により、福井から京都・大阪は通勤圏内となり、二拠点居住のエリアとしても非常に近く、便利になると述べた。3つ目のテーマである「関西と北陸との結びつきについて」においては、北陸新幹線金沢開業により、東京との交流人口や進学者が増えたことについて触れた後、大阪までの全線開業によるゴールデンループの完成や経済波及効果、太平洋側有事の際には東京一京都・大阪間の代替補完ルートとして、国土の強靱化に大きく繋がることについて強くアピールした。



(担当：神地)

●地域協創ビジネスマッチングワークショップ

日時：12月3日(金) 14:00-16:30

場所：完全オンライン (EventHub・Zoom形式)

出席者：出展者及び来場者 計約120名

経団連主催、北経連・四経連・道経連・東経連共催にて、テーマ「一次産業に対する取り組み・技術」に関し、各経連から2社、計8企業・団体・大学が出展した。第一部は各出展者からのプレゼンテーション、

第二部は個別懇談会で開催された。

北経連からは福井シード様が輸出用高級トマトの開発、BioSeeds様が小型化学肥料分析機器の開発について出展された。アンケート調査結果を踏まえ、今後より具体的なビジネスマッチングに繋がられるよう、経団連を中心に参加経連と共に協議検討を進めていくこととした。

(担当：小島・登)



●2021年度 第2回観光委員会

日時：12月6日(月) 12:20-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル

(オンライン併催)

出席者：19名(会場17名、オンライン2名)

米沢委員長は冒頭の挨拶にて、北陸は文化立圏を目指すべきと考えており、北陸地域は質と量の最適化が重要であり、オーバーツーリズムにならないよう富裕層中心のインバウンドにターゲットを絞ってプロモーションする組織を作りたいと考えていることに言及し、プロモーション活動を評価・分析しながら、効果あるものを見定めていくようなしくみが必要と述べた。

その後、今後の観光委員会の方向性について、意見交換が行われた。各委員からは、市場開拓の観点からインバウンドに取組みが必要であること。インバウンドに取組むには、SDGsの観点が重要であり、ビーガンやLGBT等に対応することで、北陸が最先端の地域となり発信していくことで特化できるのではないかと。クリエイター等の観光人材の育成が必要である。また、11月に開催したインバウンド勉強会でのせとうちDMOの取り組みは大変参考になるものであり、今後の観光委員会の取り組み

に反映できるのではないかな等の活発な議論が行われた。

これらの意見を踏まえ、来年度の事業計画を策定していくこととした。



(担当：高田)

●会員懇談会 (福井会場)

日時：12月7日(火) 14:30-17:00

場所：福井県民ホール (オンライン併催)

出席者：84名 (会場29名、オンライン55名)



今年度の会員懇談会は「北陸近未来ビジョン」で掲げる「スマート・リージョン北陸の実現にむけて」を統一テーマとし、福井会場では「ダイバーシティ」をテーマに講演会を開催した。

金井会長の開会挨拶の後、アクセンチュア(株)の江川昌史代表取締役社長より「女性活躍推進～女性が自然に活躍できる環境を目指して～」と題して講演いただいた。江川社長は、女性を含めた多様な人材が活躍できる環境を整え、女性比率と業績を同時に伸ばし、生産性も向上させた取組について紹介した。

スウェーデン大使館ヨハン・フルトクイスト一等書記官は「男女平等とワークライフバランス：スウェーデンの経験から」と題して講演した。スウェーデンが世界に先がけて育児休業法を制定し、取得率が高い理由や、女性の雇用を増やす政策等について説明した。

閉会挨拶にて、八木副会長は「2030年代中頃のスマート・リージョン北陸を目指して、皆さまの引き続き積極的な参画により、我々の手で東京一極集中の打破、北陸から新しい日本を作り上げる、そのような気持ちで頑張っていきたい」と述べた。

(担当：渡辺)

●北陸進出企業に学ぶ企業誘致勉強会

日時：12月8日(水) 10:30-12:00

場所：グランテラス富山 (オンライン併催)

出席者：68名 (会場25名、オンライン43名)

今年度第2回勉強会は、富山市に進出したユースキン製薬(株)野渡和義代表取締役社長より、「ユースキン製薬の挑戦～事業発展に最適な富山への工場移転と今後の展開について～」と題して、講演いただいた。

野渡氏からは、ひとつのハンドクリームに始まり、「あなたの肌のために」といったコーポレートアイデンティティ、今までのあゆみ、そして、お客さまとより良い関係を築くための取り組みなど、お話しをお伺いした。

また、どうして工場移転で富山を選択したのか、移転までの経緯について企業誘致という観点からも貴重なお話しを頂いた。

野渡氏の講演に続き、富山県商工労働部企業誘致専門監の端正至氏から富山県における誘致にあたっての支援活動について説明いただいた。

講演や、その後の質疑応答内容等を踏まえ、今後の北投促の活動に取り組んでいく。

(担当：岩田、森岡)



●2021年度 第2回新たな価値創出委員会

日時：12月9日(金) 12:20-15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

(オンライン併催)

出席者：23名 (会場10名、オンライン13名)

北村委員長は冒頭挨拶にて、労働生産性を向上させるにはDX等を駆使し付加価値を上げて顧客満足度を向上させる取組みに企業が転換していく必要性について述べた。

事務局から事業計画の実施状況と評価・方向性について説明した。実施状況では、実務者向けデジタル人材育成講座の受講者アンケート結果、今年度から取組み始めた会員から情報交換テーマを募り開催した北陸産学技術交流会(情報交換)が好評だったことを報告した。

各委員からは、DX推進に関連しデジタル人材育成や働き方改革、オンラインを活用したリカレント教育、オープンイノベーションの活性化、企業と大

学の連携強化について意見があった。

本委員会での意見・要望等を踏まえ、次年度の活動方針や事業計画に反映することとした。



(担当：坂井)

●新たな価値創出オンライン講演会

日時：12月9日(金) 14:00-15:00

場所：オンライン開催

参加者：94名(会場:17名、オンライン:77名)

金沢大学の山崎光悦学長を講師に迎え、「地方創生に向けた金沢大学の戦略と取組み～社会共創で北陸の活力を～」と題し、新たな価値創出オンライン講演会を開催した。なお、本講演会は会員および各商工会議所等の関係団体を通じて一般からも参加者を募集し開催した。

山崎学長からは、先鋭分野の強化と地方創生、カーボンニュートラルに資する研究推進、人材育成、産学連携等、金沢大学の様々な取組みについて紹介があった。

特に、北陸地域の4国立大学が連携して立ち上げる産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」では、キックオフシンポジウムを来年1月17日に開催予定であり、北陸地域に拠点有する企業に対しフォーラムへの入会(会費無料)を呼び掛けた。



(担当：坂井)

●2021年度 第2回社会基盤委員会

日時：12月10日(金) 12:20-12:55

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

出席者：17名(会場:13名、オンライン:4名)

開会挨拶で光野委員長はコロナ禍によって東京一極集中のリスクが認識され、多核連携型国家の形成が求められていることを指摘。この中では、地域と地域とが密接に繋がるのが重要であり、地域間を必要な時に短時間で移動できる新幹線・高規格道路に、空港・港湾などを加えた人流・物流ネットワークの強化が、これまで以上に必要となる、引き続き整備促進に向け取り組

んでいくと述べた。

その後、事業計画の実施状況について意見交換が行われ、各委員からは並行在来線、北陸新幹線敦賀・新大阪間の着工への課題やカーボンニュートラルレポート等についての質問や意見があった。



(担当：高島・神地)

●講演会「新たな総合物流施策大綱と最近の物流施策」

日時：12月10日(金) 13:00-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

出席者：31名(会場:13名、オンライン:18名)

「新たな総合物流施策大綱と最近の物流施策」をテーマに、北陸信越運輸局交通政策部坂本次長を講師に迎え、講演会が開催された。

坂本次長からは、物流を取り巻く現状と課題について触れた後、国の取組として総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)の詳細について説明いただいた。



(担当：高島・神地)

●政府要望活動

日時：12月10日(金) 9:30-16:00

場所：東京(自民党本部、議員会館、関係省庁)

参加者：金井会長、山崎総合対策委員会副委員長(金沢大学長)ほか

与党国会議員や国土交通省、経済産業省、文部科学省等の関係省庁に対して、「政府に対する北陸経済界からの要望書」をもとに要望活動を実施した。

金井会長からは、

- ・ワクチン接種、医療提供体制の充実等の新型コロナウイルス感染症対策の着実な実行、
- ・北陸新幹線を始めとした社会基盤整備促進、
- ・原子力発電所の早期再稼働等のエネルギー・環

境対策への支援、

・東京一極集中の打破に向けた支援策の拡充を中心に要望した。

また、山崎総合対策委員会副委員長からは、

- ・地方大学の定員増への支援、
- ・国立大学法人の運営費交付金の増額等、地方大学の事業運営、研究等に対する支援の拡充

を中心に要望した。

(要望先)

自由民主党 古屋圭司政務調査会長代行 (写真右)

自由民主党 高木毅与党北陸新幹線整備委員長(写真左)

自由民主党 稲田朋美整備新幹線等鉄道調査会長

自由民主党 梶山弘志幹事長代行

公明党 中川宏昌北陸信越方面本部長

経済産業省 多田明弘事務次官

国土交通省 泉田裕彦大臣政務官、村山一弥道路局長、上原淳鉄道局長、鶴田浩久鉄道局次長、

文部科学省 千原由幸科学技術・学術政策局長、

増子宏高等教育局長、

池田貴城研究振興局長



(担当：小林)

●北陸産学技術交流会(情報交換)

テーマ③「製造業におけるA I活用等による検査工程の自動化」

主 査：朝日印刷㈱

日 時：12月8日(水) 13:30-15:00

場 所：オンライン開催

参加者：6名(事務局2名含む)

朝日印刷㈱との共催で「製造業におけるA I活用等による検査工程の自動化」をテーマに北陸産学技術交流会が開催された。



参加者の自己紹介後、主査の朝日印刷㈱から提案テーマの趣旨等について説明後、参加者から質問や意見があった。その後、参加者からテーマに関する事例や取り組み等について紹介があり、意見交換を実施した。

(担当：坂井)

●三経連 政府要望活動

日 時：12月14日(火) 11:15-16:45

場 所：経産省・財務省・国交省・自民党

参加者：金井会長、海輪東経連会長、真弓道経連会長

北陸・東北・北海道の3経済連合会で構成する三経連による政府要望を実施した。

例年9月の経済懇談会での決議に基づき取りまとめる要望書を以て10月に政府要望を実施しているが、今年はコロナにより経済懇談会が中止となったため、3会長によるオンライン会議により要望書を取りまとめ、要望を実施した。(幹事：東経連)

要望は次の5項目。

- ①新型コロナウイルスの感染収束、実効性のある地域経済対策の推進
- ②多様な働き方・多様な人材の活躍推進
- ③地域産業の競争力強化・魅力ある産業の創出
- ④地域のさらなる成長を支える社会資本整備の促進
- ⑤持続的な経済成長に向けたエネルギー政策の推進

要望書はホームページに掲載しています。

(要望先)

経済産業省 細田健一副大臣

財務省 藤原崇政務官

国土交通省 泉田裕彦政務官

自由民主党 茂木敏充幹事長(写真)

金井会長は北陸新幹線の早期全線開業、カーボンニュートラル実現に向けては、原子力発電の活用の重要性を訴えた。



(担当：小山)

今後の行事予定

◆【実施】第352回常任理事会

日 時：12月22日(水) 15:00-16:30

場 所：金沢ニューグランドホテル

対 象：会長、副会長、常任理事



◆【実施】2022年 新春経済懇談会

日時：2022年1月26日(水) 15:00-16:45

場所：ANA クラウンプラザホテル金沢
(オンライン併催)

対象：全会員

◆【実施】会員懇談会(富山会場)

日時：2022年2月1日(火) 14:30-17:00

場所：ホテルグランテラス富山
(オンライン併催)

対象：全会員

※申込締切は、2022年1月7日(金)になっております。(只今、受付中です)

◆【参加者募集】北陸産学技術交流会(情報交換)

主査(北陸電機製造株)と北経連との共催で、下記の情報交換テーマで北陸産学技術交流会の参加者(実務者)を募集しています。

テーマに関心のある企業実務者および大学研究者の方のご参加をお待ちしております。関係しそうな部署へのご周知をお願い申し上げます。

【URL】

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/859375bd646a7161acf53fc19b975be7.pdf>

★テーマ④「IH加熱技術の適用が可能な分野・生産設備」

主査：北陸電機製造株

日時：2022年2月17日(木) 13:30~15:00頃

場所：オンライン開催(Teamsを使用)

概要：政府が宣言した「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向け、産業界に求められる“脱炭素化ものづくり”のカギとなるのは『電化』であり、化石燃料を使用した生産設備の多くは今後、電化が進むものと想定されます。電化に関連する技術として当社はIH加熱技術を有しており、今回は当該技術が適用できる製品・生産設備のアイデアや応用展開について幅広く意見交換を行いたいと思います。

※電化(IH化)したい設備・装置が有る、現有設備に問題があり改善を検討しているなど

対象：加熱設備を所有する製造業等の設備担当、IH加熱に関心のある技術者の方(会員企業の実務者、大学の研究者)全会員へ案内済

定員：10名[先着順]

申込：下記URLから申込

<https://forms.office.com/r/7v5qBdGLAY>

締切：2022年1月12日(水)

※定員に達し次第締切

お知らせ

■「北陸未来共創フォーラム キックオフ・シンポジウム」の開催

【URL】 <https://hokuriku-mirai.jp/>

【主催】金沢大学、富山大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学、北陸経済連合会

【日時】2022年1月17日(月) 13:00-16:00

【メイン会場】金沢市文化ホール(オンライン併催)

併催：産業分野別ポスター展示ブース&個別説明会

【サテライト会場】

- ・福井大学文京キャンパス アカデミホール
- ・富山大学五福キャンパス 黒田講堂ホール

【内容】

- ・特別講演
「北陸の産学官金が連携・協力する意義」(仮)
第一生命ホールディングス株取締役会長
渡邊光一郎氏
 - ・パネルディスカッション、質疑応答
(パネラー)
渡邊光一郎氏
金井豊氏(北陸経済連合会会長)
寺野稔氏(北陸先端科学技術大学院大学学長)
- 【申込】下記URLから事前申込(参加無料)
<https://forms.gle/Gr6GwM1pdToMGiQv9>
- 【問合せ】キックオフシンポジウム運営事務局
(株)コンベンションリンケージLinkage 北陸
TEL:076-222-7571 FAX:076-222-7572
E-mail: hokuriku-mirai@c-linkage.co.jp
(担当：小林)

■総務省北陸総合通信局からのお知らせ

「北陸地域 ICT イノベーションセミナー2021」
(令和3年度SCOPE成果発表会)の開催

【URL】

https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2021/pre211214_01.html

【日時】2022年1月24日(月)13:30-16:00

【場所】KKRホテル金沢(オンライン併催)

【会場定員】30名(参加無料、先着順)

【内容】

- ・基調講演
「異分野間連携による次世代の社会インフラシステムの動向について」
世界経済フォーラム 平山雄太氏
- ・NICTの業務及び取り組み事例の紹介

・SCOPE 研究開発成果の発表

【申込】下記 URL から申込(1月17日〆切)

<https://hokurikutelecom.jp/1638945033113882.html>

【問合せ】北陸総合通信局電気通信事業課

TEL:076-233-4421

mail: hokuriku-jigyo_seisaku@soumu.go.jp

(担当:坂井)

■中部経済産業局からのお知らせ

「国家公務員倫理法・倫理規程に係る協力依頼」

国家公務員は、法令により利害関係者から贈与・接待等を受けることが禁じられており、毎年12月を「国家公務員倫理月間」とし、改めて同法及び同規程の遵守について、職員への周知徹底を行い、法令遵守に努めております。

事業者の皆さまにおかれましても、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

(担当:宮西)

■北陸イメージアップ推進会議からのお知らせ

「北陸の素敵な写真を募集しています！」



北陸三県の魅力を紹介する広域観光ガイド「北陸物語」のInstagramアカウント@hokurikumonogatariでは、フォロワーの皆様に投稿いただいた北陸の魅力的な写真を随時ご紹介していきます。

12月-1月のテーマは「#ほくりく冬フォト」。このハッシュタグをつけて、北陸の冬におすすめしたいスポットやグルメなどをぜひ投稿してください！上記のタグが付いている作品の中から、リポストで紹介させていただきます。

北陸の魅力を知っている皆様の投稿、お待ちしております！

北陸物語 HP <https://monogatari.hokuriku-imageup.org/>

Instagram @hokurikumonogatari

Facebook @hokuriku.monogatari

(担当:日野)

■中部経産局国際課からのお知らせ

RCEP 活用のために今こそ知っておくべき！

EPA 利活用のための説明会&個別相談会

2022年1月1日に中国・韓国との初のEPA(経済連携協定)となるRCEP協定が発効されます。

経済産業省、ジェトロ名古屋及び名古屋税関は、EPA利活用にかかる前提知識と各社にとってのEPA利用メリット・手続きを一度に把握することのできる説明会・相談会を開催します。

具体的には、第1部でEPAの制度概要やEPA利用事例、EPA利用に際し役立つ支援施策をご紹介し、第2部では、各社の製品の6桁ベースでのHSコードの特定・EPA税率の確認、該当しうる原産地規則の概要や、手続きの流れ等について個別に相談対応します。

RCEP協定等のEPAを利用することで、企業の関税負担が軽減し、競争力向上につながります。是非ご参加ください。

【日時】2022年1月31日(月)13:30-16:30

【形式】オンライン(Microsoft Teams)

※第2部個別相談会のみ対面対応可

(要事前登録)

【定員】第1部説明会:100名

第2部個別相談会:12社程度

【申込】2022年1月14日(金)〆切

【詳細】

<https://www.chubu.meti.go.jp/b62kyoten/os/hirase/epa/20220131epa/index.html>

【問合せ】

経済産業省通商政策局経済連携課

TEL:03-3501-1595

中部経済産業局地域経済部国際課 担当:浅井

TEL:052-951-4091

(担当:小島)

以上